

白熱のTMCスキー競技会

市民とバスツアーで行く「スキー大会」

豊橋山岳会創立当初にスキー部が創設されていたこともあり、スキーも趣味とする会員は多かった。そして会員同士スキー技術の優劣を競いたいという意識もあり、スキー競技会を開催することとなった。

1974(S49)年、平家平スキー場にて第1回大会が開催され。その後、1992(H4)年までに計19回、競技会は開催された。当初は色々なスキー場を使用していたが、1977(S52)年からは競技コース設置に寛容な位山国際スキー場(現モンドウス飛騨位山スノーパーク)をメイン会場として行われた。

大会運営は、全て会員が行いコース設営も自らの手でセットされた。素人が造るコースではあったが、ストレートなどを加えた本格的回転コースに仕上がっていた。

当時はバスを使ったスキーツアーが一般的であり、当会も毎回、大型バスを貸し切り、一般募集も行い、会員・一般参加を含め毎回40人を超える選手が競技参加し熱戦が繰り広げられた。

また、この競技会での会員順位が愛知県山岳連盟主催スキー大会でのチーム編成の選考基準となるため、レース前から会員同士が牽制し合う異様な熱気に包まれ、上位を狙おうとする会員が転倒するたびに大歓声上がるほどの盛り上がりを見せていた。

このような競技会であったが、マイカー使用がスキーツアーの主流になったこと等の理由により1992(H4)年の開催を最後に終了した。



1974(S54)年 第6回大会 位山国際スキー場にて



1990(H2)年 第17回大会 談笑の様子



1992年 第19回大会 競技風景(選手 牧本一彦)